
最初の異世界召還

紅姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最初の異世界召還

【コード】

N0744U

【作者名】

紅姫

【あらすじ】

101回目の最初の召還ストーリーです。

俺の名前は鈴木^{すずき} 雪^{ゆき}

定時制に通っている16歳の男だ。

親と一緒に暮らしていて妹が一人いる。

いま、定時制で紹介してくれたガソリンスタンドのバイトが終って、マウンテンバイクを全力で漕ぎながら学校へ疾走してる。

この速度を維持できれば恐らくぎりぎり遅刻だな・・・

踏み切りを超えたあたりで線路に前輪が引っかかってしまい、自転車が浮き上がり体が空中に投げ飛ばされた所に運悪く大型車が走ってきた。

俺、おわったか・・・

思ったと同時に、気がつけば回りに神官が着る服を着た人間達がいって話をしていた。

「転送はうまくいったようだな」

「本当にこんな奴で役に立つのか？」

「楔の反応はある。問題はない」

「それより早くするぞ」

「……………が来る前に移植をする」

そこまでで、俺の意識が途絶えた。気がついたら自転車は大破して
いて、体は道路の真ん中に横たわっていて再度車に引かれそうにな
っていたが・・

ぶっちゃけ俺はライトノベルが大好きでよく購入しては読んでいた。

伝説の勇者の伝説ってライトノベルを読んてる時に使えたらいいの
になーとために目を閉じて開いてみたら周りの風景、人の構成が
見えた時は最初はすごい興奮してたけど、しばらくしてからなんで
なんだ？という感じだった。

これから少しずつ現実が崩壊していくのだが、それはまだ先の話

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0744u/>

最初の異世界召還

2011年6月16日18時32分発行